

午前の部 講演

10:00~12:00

※午前中の講演は一般の方も参加できます(申込み不要)

●基調講演

題名/「農業も人生も仁義と辛抱」

講師/菅原 文太 氏 (農業生産法人竜土自然農園おひさまの里 代表)

●事例発表

題名/「農業用水路を利用したマイクロ水力発電」

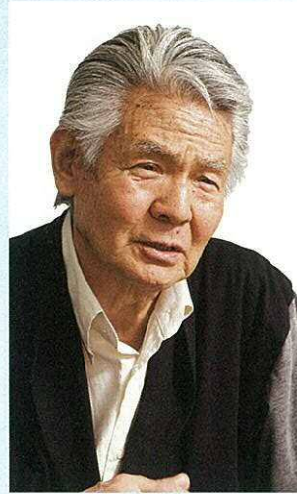
発表者/富山県土地改良事業団体連合会

●活動報告

題名/「地域住民との協働による水源保全活動について」

発表者/井田川沿岸土地改良区

■プロフィール



菅原 文太 氏

●農業生産法人竜土自然農園
おひさまの里 代表

宮城県仙台市生まれ。俳優として200本以上の映画に出演。他にテレビドキュメントや舞台も多数出演する傍ら、近年は「水源地の水の一滴塾」の塾頭を務めるなど、水源地の環境保全や農業の活性化を促進する活動を行っている。平成21年10月に山梨県北杜市に農業生産法人竜土おひさまの里を設立し、約3ヘクタールの農地に無農薬、有機肥料で野菜を作っている。

午後の部 体験活動・現地見学

13:00~16:00

- 牛ヶ首用水
- 神三ダム (神通川第三ダム)
- 大久保発電所
- 富山県立イタイイタイ病資料館



会場案内図

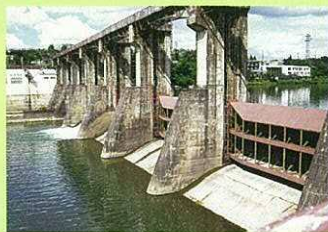


御前山から眺めた富山市



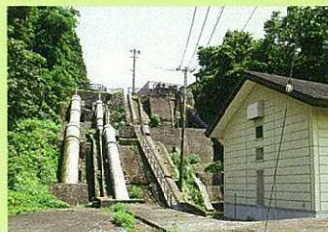
牛ヶ首用水

今から約380年前の寛永年間に造られ、富山県内で最も歴史の古い用水と言われている。加賀藩により工事が始まり、富山藩、富山県へと引き継がれ、水源は山田川・井田川から神通川に求め、神通川左岸の農地約2,100ヘクタールをかんがいている。



神三ダム (神通川第三ダム)

一級河川神通川に建設された発電用ダムであり、農業用水の取水も行われている。高さ15.5メートル、長さ242メートルの重力式コンクリートダムで、北陸電力の神通川第三発電所、神通川第三左岸発電所へ送水している。



大久保発電所

明治32年4月、県内初の水力発電所として稼働、北陸地方でも初、日本でも3番目であった。当時の出力は120キロワットで富山市に初めて灯りを輝かせ、富山県の電灯発祥の地となった。現在の発電所は出力500キロワットであり、平成11年に建物も含め更新されている。



富山県立イタイイタイ病資料館

平成24年4月開館。神通川流域で起きた、日本の四大公害病の一つと言われるイタイイタイ病の歴史と教訓、そして流域の環境被害対策を後世に継承するための資料館である。現在も続く患者救済や健康調査のほか、汚染された水田の土壌復元工事などについて解り易く紹介している。